



ご参考

2009年11月19日

## スバル全モデルが米国 IIHS の最新 2010 年安全評価で 最高評価である「トップセイフティピック」を獲得 ～ メーカーとして唯一 2 年連続の全モデル獲得 ～

富士重工業の米国販売会社スバル オブ アメリカ インクは、北米地区で現在販売しているスバルの全モデルが、IIHS(米国保険業界の非営利団体)が行う最新の 2010 年安全性評価において、最高評価の「トップセイフティピック」を獲得したと発表しました。スバルは 2009 年安全性評価に続き、モデルラインナップ全車(レガシィ、アウトバック、フォレスター、トライベッカ、インプレッサ)が「トップセイフティピック」を獲得した唯一のメーカーとなります。

IIHSは4段階評価で自動車の安全情報を消費者へ提供しています。今回の2010年評価から、新たにロールオーバー(車両転覆)時の安全評価として、ルーフ強度が「トップセイフティピック」の条件として追加され、従来の時速40マイル(約64キロメートル)の前面オフセット衝突、時速31マイル(約50キロメートル)の側面衝突と鞭打ち試験と合わせた全ての試験で最高の「Good」評価を獲得し、かつ横滑り防止装置(VDC<sup>\*\*\*</sup>)が装備されていることが必要となりました。今回、厳しいルーフ強度試験が新設されたことで、「トップセイフティピック」を獲得したモデルは、2009年評価時の94モデルに対して、27モデルにとどまりました。

本発表を受け、スバル オブ アメリカのトーマス ドール上級副社長兼 COO は「今回、(2009年に続き)全モデルが最高の評価を受けた唯一のメーカーであることにこの上ない喜びを感じています。これはまさに偉業であり、スバルの商品に通じる高い技術力に対する賛辞です。このようにIIHSに認められたことで、スバルが安全面で極めて高い基準をもっているということを、耐久性と信頼性そして運転して楽しい車づくりと共に、お客様にいっそう理解していただけるものと思います。」とコメントしました。

スバルは、従来から定評のある高い安全性能のさらなる向上に努め、これからもお客様へ安心と信頼を提供できるよう車づくりに取り組んでいきます。

\*Subaru of America, Inc.:ニュージャージー州チェリーヒル、会長兼社長 蓮沼愛雄

\*\*Insurance Institute for Highway Safety:ハイウェイ安全保険協会

\*\*\*Vehicle Dynamics Control:ビークルダイナミクスコントロール